

令和5年度 水沢 高等学校 CAN-DO リスト

育てたい生徒像		英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。		
		1学年	2学年	3学年
5 領 域	聞くこと	クラスルームイングリッシュや簡単な指示・簡単な説明を聞き、理解することができる。	自然なスピードで話される指示や簡単な説明を聞き、理解することができる。	対話文や説明文など様々なジャンルの英文を聞いて、概要や要点を正確にとらえることができる。
		多くの支援を活用すれば幅広い分野の英語を聞き取り、概要を把握することができる。	一定の支援を活用すれば英検準2級程度の英語を聞き取り、要点を押さえながら概要を把握することができる。	支援をほとんど活用しなくても説明文などの様々な自然なスピードで話される200語程度の英文について、質問されている情報を正確に捉えることができる。
	読むこと	まとまった文章を読み必要な情報を読み取ることができる。	様々なジャンルの英文に触れ、文構造を意識した読み方ができる。	評論や説明文等様々なジャンルの英文を、速読・精読などの目的に応じた読み方ができる。(スキミング・スキヤニング等含む)
		多くの支援を活用すればわからない語があっても、前後関係から推測して読み進め、要点をつかむことができる。	一定の支援を活用すれば英検準2級～2級程度の英文をWPM100で読み、内容が理解できる。	支援をほとんど活用しなくてもパラグラフの構造やパラグラフ相互の関係を把握しながら、効率よく本文の概要を捉えることができる。また、850語程度の英文を140WPMで正確に読むことができる。
	話すこと [やり取り]	多くの支援を活用すれば学習した文法、語彙を使って身近な話題について伝え合うやり取りを続けることができる。	一定の支援を活用すれば学習した文法、語彙を使って身近な話題について即興で伝え合うことができる。	支援をほとんど活用しなくても、読んだり、聞いたりした英文の内容を、自分の言葉(英語)で簡潔に伝え、会話を展開することができる。
		社会的な話題について自分の考えを論理的に相手に伝えるよう、単語ではなく、文で述べるができる。	自分の言葉で簡潔に学習した内容をパラフレーズして述べるができる。	与えられた話題について、自分の使える語彙や表現を駆使して簡潔に即興で話し、質問にも答えることができる。
	話すこと [発表]	日常的な話題について、事前に準備し、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて情報や考えを論理的に話すことができる。	日常的な話題について、事前に準備し、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて情報や考えを論理的に話すことができる。	読んだり、経験して得た情報について、支援をほとんど活用しなくても自分の意見を理由や根拠を明らかにし、相手に伝えるように論理的に述べるができる。
		社会的な話題について、事前に準備し、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて情報や考えを論理的に話すことができる。	社会的な話題について、事前に準備し、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて情報や考えを論理的に話すことができる。	与えられた話題について、自分の使える語彙や表現を駆使して簡潔に即興で話し、質問にも答えることができる。
	書くこと	多くの支援を活用すれば日常的な話題について、学習した文法、語彙を用いて60～80語程度で自分の考えを書いて伝えることができる。	一定の支援を活用すれば多角的な視点から幅広い事象をとらえ、論理的な文章を100～120語程度で書くことができる。	支援をほとんど活用しなくても自分の経験を通じて得た情報をまとめ、さらに自分の考えについて、読み手に伝わるまとまりのある文章を書くことができる。
		文章構成の基礎を理解し、簡単な英文レポートを作成し発表することができる。	自分の興味のある分野について具体例をあげながら3パラグラフ以上書くことができる。	社会的な話題に関して150語程度の英文で、まとまりのある英文を書き、相手に伝えることができる。

※「CAN-DOリスト作成に係る能力記述文について(参考)」及び平成30年告示学習指導要領等に基づき、必要に応じてセルの数を追加して作成すること。
また、CAN-DOリスト見直しの時期は、PDCAサイクルを踏まえ、学年末が望ましいこと。学年途中で見直す場合には、生徒等へも周知する必要があること。